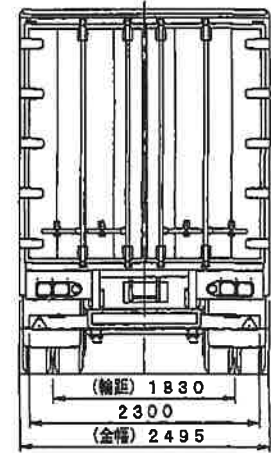
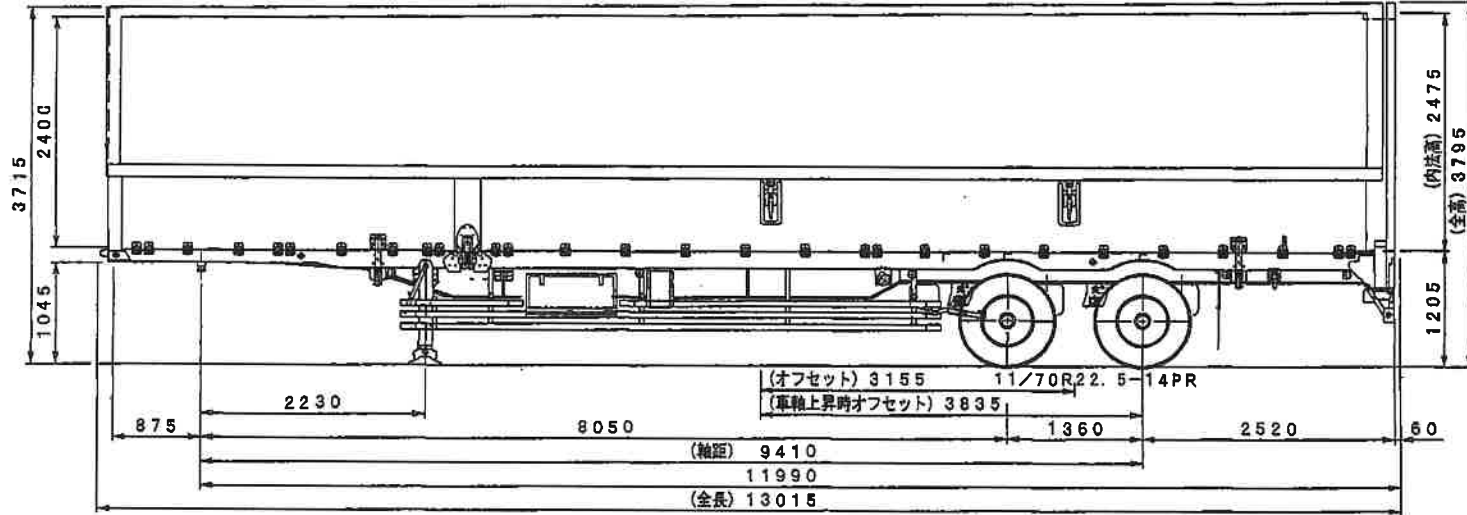
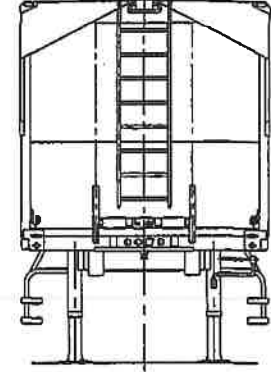
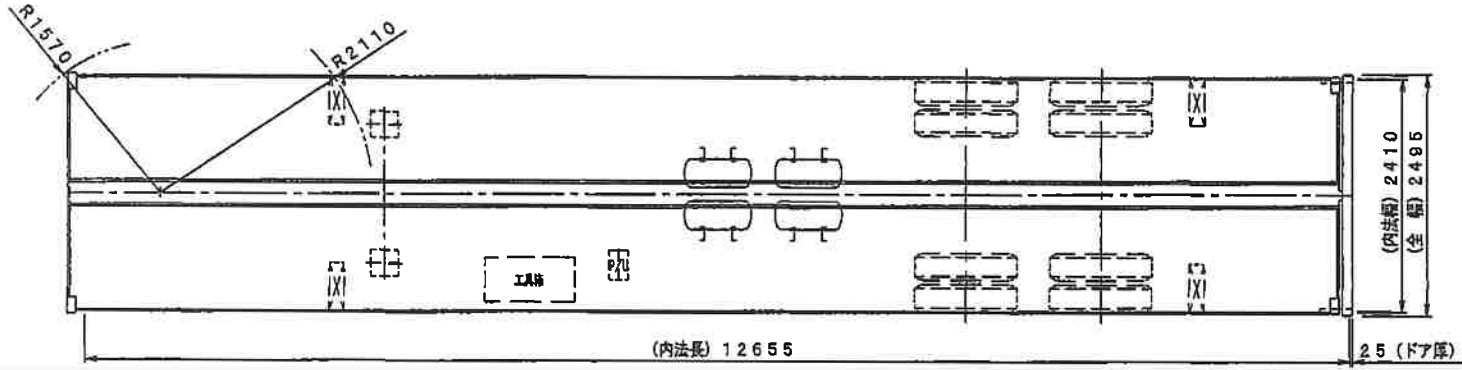


フルハーフ DFPTF241AN改型セミトレーラ 外観図





自 北 海 道 第 1151 号
平 成 29 年 12 月 6 日

日本フルハーフ株式会社 品質管理部 殿

独立行政法人 自動車技術総合機構
北海道検査部長

改造概要等説明書 (改造自動車審査結果通知書)

【指示事項】

1. 本通知書は現車の保安基準等の適合性を審査したものでなく、書面による審査の結果を通知するものである。
2. 本改造は、車台番号「DFPT241AN-35227~35231」の5台に限る。
3. 積載台数届出とする。なお、通知書の写しは交付できない。審査の際は本紙を提示すること。

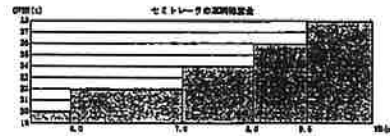
【指示事項】

1. 審査事務規程4-13に基づき届出を確認すること。

主要諸元比較表 (積載車両の類別等を記載する。(0372))

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度
車名	フルハーフ	↑		乗車定員	—	—	
型式	DFPT241AN	DFPT241AN&R		最大積重量 kg	22300(8700)	20500(6300)	
自動車の種別	普通	↑		前軸積重	9320 (6150)	9780 (5355)	(11700kg)
用途	貨物	↑		前後軸積重	—	—	
車体の形状	セミトレーラ	セミトレーラ		車軸重量	9290	9485	
燃料の種類	—	—		最大積重量	9290 (—)	9485 (—)	≦各10t (22900kg)
原動機型式	—	—		前後軸積重	9290 (9150)	9485 (9196)	
総排気量(リ)又は定格出力(kW)	—	—		計	27600 (14500)	28750 (14550)	≦38t (34800kg)
長さ	12.728(11.990)	13.016(11.990)	≦13m	最大安定傾斜角度°	左 49 右 49	※45	一般≧35°
幅	2.490	2.495	≦2.5m	タイヤサイズ	前前輪 — 前後輪 11R22.5-14PR	11R22.5-14 11R22.5-14	(10000kg)
高さ	1.325	3.795	≦3.8m	前後軸重割合	—	—	
軸距	8.190+1.360 =9.550	8.050+1.380 =9.430	(計算上) 8.730m	リヤ・オーバーハング	2.440	2.520	≦2/3L (6.273m)
軸距	前輪 — 後輪 1.630	— ↑		荷台オフセット	3.175(3.855)	3.155(3.835)	
荷台の内径寸	長さ 12.590 幅 2.470 高さ —	12.655 2.410 2.475		最小回転半径	11.0	※10.6(11.0)	≦12m
車両重量	前前軸重 1340(1840) 前後軸重 —	2370(2790) —					
kg	後前軸重 2130(—) 後後軸重 2130(3960)	2940(—) 2940(5460)					
計	5600	7910					

車両重量・軸重等の分布



前後軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満 (1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
前後軸重	— kg ≦ 18t	— kg ≦ 20t	18970 kg ≦ 19t

能力強度等検討

項目	標準車	改造車	基準・限度
制動能力	踏力 — N — 空気圧 — kPa —	— —	踏力 — N — km/h — m — / — / — ≧ 1.6
制動距離	σv/σ	490 / 234.5 = 2.08 ≧ 1.6	σv/σ — / — / — ≧ 1.3
制動強度	σv/σ	325 / 234.5 = 1.38 ≧ 1.3	σv/σ — / — / — ≧ 1.6
制動強度	σv/σ	490 / 234.5 = 2.08 ≧ 1.6	σv/σ — / — / — ≧ 1.3
制動強度	σv/σ	325 / 234.5 = 1.38 ≧ 1.3	σv/σ — / — / — ≧ 1.6

- 注1: 能力検討値は、該当しないものは「—」、省略したものは「×」を記入すること。
- 注2: 指示事項欄又は能力強度検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
- 注3: 現車審査の際は、改造自動車審査結果通知書、外観図、改造部分詳細図及びその他特記指示された資料を提示すること。
- 注4: ※印については、UDトラック QD-QD&AD (第5輪 11.5") で検討した。主要部材表中()内の数値は車軸上昇時の数値を示す。
- 注5: 長さ欄()内の数値は、運転装置の中心(キヤンペン位置)から車両後端までの水平距離を示す。

(日本工業規格 A列4番)

改造等の概要

目的	荷重配分を適正にするため。
車軸及び車体	軸距間の車軸、断面高さ510mmの部分の長さ寸法を4430mmより4169mmに変更する。 軸距間の車軸、後部傾斜部分の長さ寸法を174mmより295mmに変更する。 後部車軸、断面高さ410mmの部分の断面高さ340mmに変更する。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
懸架装置	
連結装置	
電気装置	

- 注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。
- 注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づき勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

(日本工業規格 A列4番)